

学校体育館 冷暖房整備を



福部正人議員

公立の小・中学校の体育館は部活動や学校行事のほか、地域行事をはじめ災害時には避難所として使われるなど、市民にも広く利用されている。昨今は猛暑日が続ぎ、体育館での熱中症対策は急務である。学校体育館の冷暖房整備を前向きに考えてはどうか。



様々な目的で利用される学校体育館

A

教育部長 現状では、市内公立全小中学校の体育館の冷暖房整備はされていない。仮に整備するとなると、事業費は1施設当たり約7000万円と試算している。加えて電気代などのランニングコストも必要となることから、限られた財源の中での早急な整備は難し

い。しかし、学校体育館は学校施設としても地域活動拠点として重要な役割を担っていることから、今後の国、県や他市の動向を見ながら、来年度にかけて策定する学校施設長寿命化計画の中で、関係部署とも協議しながら冷暖房整備の優先順位を

決めていきたい。

丸亀版DMO整備 課題と対策は



東 由美 議員

地域関係者を巻き込み、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行うかじ取り役として、DMOが全国各地で形成されている。本市でも丸亀版DMOの整備に向けて準備を進めているが、どのような状況か。

A

市長 丸亀版DMOの創設に向けて、観光協会を中心に取り組んでいる。現在、宿泊や飲食、お土産などの観光関連産業だけでなく、農水産業や商工業などを含む産業全般で活躍するDMOのキーパーソンとなり得る方へのヒアリングや懇談会、観光データの収集分析、戦略の策定などを行って

り、観光庁が推進する日本版DMO候補法人登録制度の申請に向けた準備を進めている。しかし、課題として母体となる観光協会に組織マネジメントを行う専門職員が不足していることがあり、市としては、専門職員が育つまで職員の出向も含めて全面的に支援していきたい。



市の玄関口、JR丸亀駅の観光案内所

総合運動公園 全体計画の策定は



多田光廣議員



総合運動公園テニスコート

Q

総合運動公園の整備計画は財政難から一時中断され、見直しを行いながら市民球場や駐車場の整備が進められてきた。しかし、テニスコートの整備は関係者からの要望が出されているものの進展していない。総合運動公園全体の整備計画を示すべきではないのか。

A

生活環境部長 総合運動公園の整備計画は、新県立体育館の誘致を行っていたこともあり中断していたが、現在は先代池北側の多目的広場兼駐車場の整備を進めている。まずは懸案の駐車場不足解消とアクセス改善の見通しをつけた上で、総合運動公園全体の新しい整備計画を策定する予定として

いる。各競技団体から施設整備の遅れを指摘されているが、御理解いただきたい。

総合運動公園全体の整備計画は、課題や各競技団体からの意見を踏まえ、早い時期に素案を市議会に示した上で、来年度に関係団体やスポーツ推進審議会の意見も伺いながら策定していきたい。

一般質問

市長の情報発信 公人の自覚は



国方功夫議員

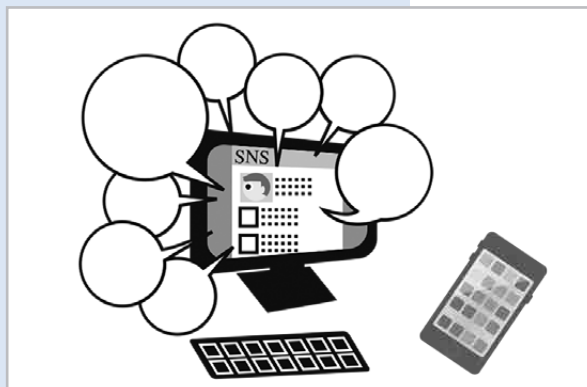
Q

市長のフェイスブックでの発信について伺う。9月定例会で議決した中央保育所入所募集停止を求める決議について、市長は自身のフェイスブックで「多数決原理を悪用した主張の押し付け」、「民間委託のための廃止という側面があります」、「その理由が安上がりだからというのは納得しかねます。」などとコメントしている。市長は公人として言葉の重みを考えて発信しているのか。

A

市長 従来より個人的にフェイスブックを活用しているが、掲載内容やコメントなどは、私人として私的立場で発している。御指摘のコメントも一個人として発したものだ。今日のようにSNSなどによる不特定多数の方々との交流

が可能な社会では、発言を断片的に切り取られ、本来意図した真意が伝わらず、誤解や混乱を招き、不信感をもたらす結果にもつながりかねない。今後とも市長として、発言や発信は慎重に配慮してまいりたい。



SNSでの情報発信は慎重に

高齢者の移動手段確保 地域での取り組みを



加藤正員議員

生活拠点内で利用できる高齢者の移動手段の確保が求められている。その方法のひとつとして、コミュニティ内での通院や買い物に利用できるボランティア運転手による無償運送を提案する。利用者がガソリン代実費と運転手への謝礼程度を負担する無償運送の実証実験を行ってはどうか。



高齢者が気軽に利用できる移動手段確保を

A

市長 本市でも高齢者の移動手段確保のための協議を進めている。今後の方向性として、地区コミュニティを単位とした互助による輸送のモデル事業を公募で実施するための検討を行っている。モデル事業実施に当たっては、具体的な運用方法や安全性確保のための方策

などを明確にし、地域の実情やニーズに合わせて実施する予定としている。今回御提案の利用者負担や市の負担等の運用方法も参考にしながら、持続可能な仕組みづくりが実現できるよう、来年度のモデル事業の取り組み開始に向けた協議を重ねていく。

丸亀城保存活用の 未来計画を今こそ



内田俊英議員

丸亀城の保存と活用について、将来を見渡す計画の樹立を訴えてきたが、いまだ実現していない。石垣が崩落し、復旧・復興のビジョンを示す今こそ、丸亀城保存活用計画の続編を樹立するべきと考える。いつまでに達成するのか。



今こそ丸亀城保存活用のビジョンを

A

市長 現在の整備計画である史跡丸亀城跡保存整備基本計画は、策定より20年以上経過しており、より現状に即した見直しが必要である。そこで、来年度から2年かけて史跡丸亀城跡保存活用計画を策定したいと考えている。この保存活用計画の中で、文化財の保存状況や管理体制の課題を整理し、今後の保存活用を図る上で必要

な事業や取り組み方法をお示しする。この保存活用計画策定後、これに基づき整備基本計画の見直しを行い、整備を進めたいと考えている。
計画策定の際には、県や文化庁といった関係機関とも協議を行い、丸亀市史跡丸亀城跡調査整備委員会に諮るなど、有識者の意見を反映させながら、計画をよりよいものとしていきたい。

介護保険制度の福祉用具購入・住宅改修費の 全額立て替え払いをなくすように

Q



中谷真裕美議員



利用者負担を軽減する制度運用を

介護保険を使い住宅改修や福祉用具の購入をする場合、利用者が費用の全額を一旦業者に支払い、申請すると9割が保険給付分として戻る仕組みになっている。利用者からは最初から1割負担で済むようにしてほしいとの声が上がっている。本市でも受領委任払いの制度を導入することで立て替え払いをなくし、住宅改修や福祉用具購入のサービスを経済的負担の心配なく利用できるようにしていただきたい。

A

健康福祉部長 介護保険
制度における福祉用具購

入と住宅改修費の給付は償還払いが原則だが、利用者の経済的負担軽減を考慮し、新年度から福祉用具購入費において、利用者が自己負担分のみ事業者へ支

払い、保険給付分を市が事業者に支払う受領委任払い制度の実施に向けて準備している。住宅改修費についても準備が整い次第、可能であれば福祉用具と同時期に導入したい。

ヘルプマーク 学習の機会を

Q



神田泰孝議員



ヘルプマークを見かけたら思いやりのある行動を

内部障害や難病の方などがヘルプマークを身につけることで、周囲からの配慮が受けやすくなる。本県でも5月からヘルプマークの運用が始まったが認知度は低く、付けている方が心無い言葉を掛けられるなどトラブルとなる事例も多いと聞く。すべての世代への周知が必要だが、特に次世代を担う子供たちにはヘルプマークの知識や思いやりの心を持ってもらいたい。そのためにも小・中学校の授業で実物に触れ、学ぶ機会を設けてはどうか。

A

教育長 ヘルプマークの
啓発は、障害者差別解消

の観点からも重要なことと考えている。小・中学校でヘルプマークをはじめ車椅子マークや補助犬マークなど障害のある人に関係するマークについて学習

し、その意味や意義を知ることには大変価値がある。そのような学習を通して、全ての人の人権を尊重する心を育て、思いやりの心を持った児童・生徒の育成に努めたい。